

研究のご協力をお願い

札幌麻生脳神経外科では下記の臨床研究を行います。皆様におかれましては本研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますよう、お願いいたします。

なお、本研究への参加を希望されない場合、または本研究に関するお問い合わせは、お手数をかけますが、当院連絡先までご連絡ください。

1. 研究名：Cross-education effect を応用した運動療法が脳卒中後の足関節背屈機能障害に与える影響 – シングルケースデザインによる検討 –

2. 研究の対象

2022年に当院回復期リハビリテーション病棟に入院された脳卒中片麻痺患者1名

3. 研究期間

2022年1月27日～2022年2月12日

4. 研究目的

脳卒中後の下肢運動機能障害、特に足関節背屈機能障害は回復に難渋する 경우가多く、効果的な治療介入の開発が求められているが、いまだ確立していないのが現状である。Cross-education effect（両側性転移）とは『片側の上下肢で行ったトレーニング効果が反対側にも波及する』という現象である。骨折などの整形外科疾患に対してのリハビリテーションにおいては応用されているが、脳卒中などの中枢神経疾患においては十分な検証がなされておらず、国内での報告はごく少数である。本研究では非麻痺側の足関節背屈トレーニングにより障害された麻痺側足関節の機能回復が得られるかを検証することを目的としている。

5. 研究方法

本研究はABA シングルケースデザインによる一事例研究である。ベースライン期と介入期における足関節背屈の自動運動角度や筋活動、歩行能力を評価し比較する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別・診断名・合併症（既往歴）・画像所見・治療内容

理学療法評価（足関節背屈機能、背屈自動運動角度、筋緊張、筋活動、歩行能力）

7. 外部への試料・情報の提供

研究データは研究責任者が保管・管理し、外部に提供することはありません。
学会などの発表は個人情報の漏えいに十分に配慮して行います。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院連絡先：

札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション部 居橋 拳児

住所 札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1-40

電話 011-731-2321